



認定こども園さすえでふれあい広場 接し方と命の尊さを



4月28日、認定こども園さすえ（正覺智成園長）で「どうぶつふれあい広場」が開催されました。これは、動物とのふれあいを通して子どもたちに命の大切さを学ぶ目的で、同園が企画し、合同会社みにZOO（西山由紗代表）と共に実施しました。

西山代表は「子どもたちが動物とふれあう場が減少傾向にある。動物との接し方と命の尊さを学んでほしい。機会があれば他の保育園でも開催したい」と話し、小屋隆桜さん（6歳）は「へびが可愛かった。また一緒に遊びたい」と笑顔で話しました。

獅子島招魂祭・つつじ祭りを開催 悲惨さと平和のありがたみ



4月29日、獅子島招魂祭が片側天満宮で執り行われ、明治維新以降の国難に殉じられた御霊に対し、遺族や各種団体関係者らが玉串を捧げました。町遺族会の濱畑順一会長（小浜）は「戦争の悲惨さと平和であることの大切さを後世に語り継ぐ」と慰霊の言葉を述べました。同日、つつじ祭りが獅子島アイランドセンターで開催され、獅子島振興会の池田安彦会長が「皆さんの親睦と友和を深めていただきたい」とあいさつ。この日は、エンジェルひばりさんによるものまねショーやカラオケ大会、餅投げなどが催されました。

蔵之元緑の少年団が県知事賞を受賞 認められた功績を胸に



4月29日、2026みどりの感謝祭の式典の中で、蔵之元緑の少年団が鹿児島県知事表彰を受賞しました。これは、緑を愛し、守り育て、健康で明るい心を持った人間に育つことを目的としている同団員が、県土緑化運動の推進において、地域の緑化推進に貢献し、その功績が特に顕著であることが認められての受賞となります。

武元結愛さん（蔵之元小6年）は「大勢の人の前での受賞で緊張した。認められた功績を胸にこれからも緑の少年団活動がんばっていききたい」と笑顔で話しました。

交通安全「ジャガイモ作戦」 交通事故防止を呼び掛ける



5月2日、役場指江支所駐車場交通安全「ジャガイモ作戦」が行われ、阿久根地区交通安全協会長島支部会員や長島ライオンズクラブの会員、阿久根警察署の署員など約20人が参加しました。作戦には約100キロ、130袋のジャガイモを用意し、国道389号を通る車のドライバーに交通安全のチラシとジャガイモが手渡され、交通事故防止を呼び掛けました。

ゴールデンウィーク期間で、県外ナンバーが多く、交通安全の呼び掛けと併せて町の特産品PRにもつながりました。